

2026年3月期 決算説明会資料

2026.5.13 株式会社島精機製作所

目次

I. 2026年3月期決算概要 . . . 3P

II. 2027年3月期業績計画 . . . 16P

III. 株主還元 20P

<補足資料>

- ・ 為替前提
- ・ 研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕
- ・ TOPICS

I. 2026年3月期決算概要

SHIMA SEIKI

Passion to Create

(%)

(百万円)	2026年3月期	前期比	2025年3月期
売上高	33,509	3.0%	32,520
営業利益	△1,720	—	△11,914
経常利益	288	—	△11,481
親会社株主に帰属する 当期純利益	856	—	△14,275

【為替レート】 (円)		2026年3月期	2025年3月期
ドル・円	期末為替レート	159.88	149.52
	平均売上レート	150.82	152.65
ユーロ・円	期末為替レート	183.41	162.08
	平均売上レート	174.86	163.85

横編機

アジア市場

- バングラデシュは、2024年7月の反政府デモによる混乱の平常化にともない受注は回復基調。生産効率の高い「N.SVR®」や「N.SSR®」の販売台数が前期より増加。
- 中国市場において、香港系大手顧客を中心にコンピュータ横編機の販売台数は前期より低調。下半期に投入を予定していたコストパフォーマンスモデル成型機の投入遅延により、販売計画を下回る。

欧州・中東市場

- イタリア市場において、高級ブランドおよびそのサプライヤーを中心に景気回復の兆候が見られる。ホールガーメント®横編機の販売台数が増加。
- 中東市場において、トルコ中心にインフレが継続しており、コンピュータ横編機の販売台数は減少。

国内市場

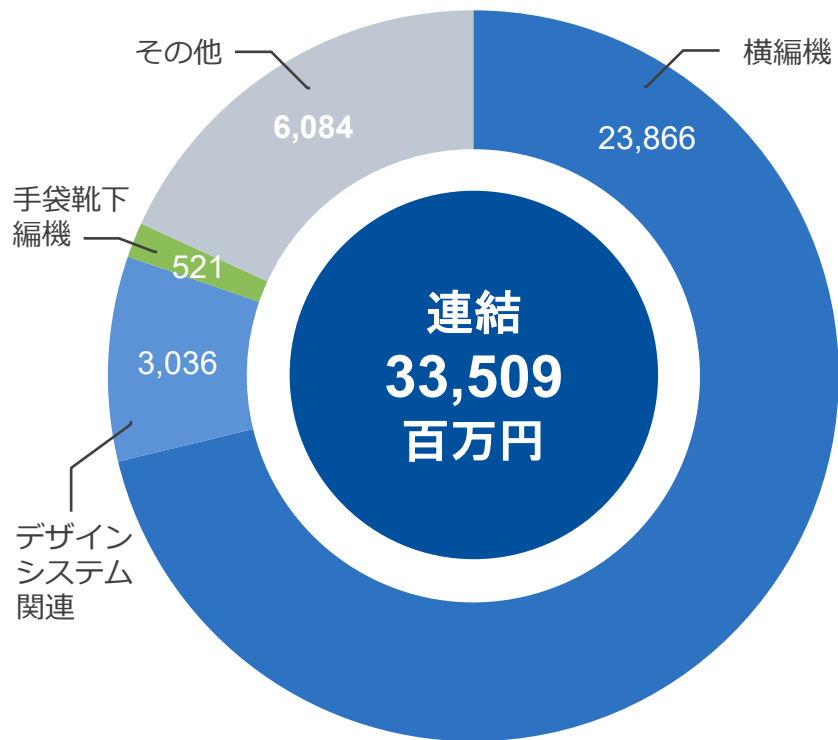
- 国内市場は、総じてホールガーメント®横編機の販売台数が前期と比べ増加。

デザインシステム 関連

- 国内外のファッション関連教育機関を中心に、SDS®-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービス「APEXFiz®」のライセンス契約数が増加。
- 自動裁断機「P-CAM®」は、国内を中心に回復傾向。

手袋靴下 編機

- 国内および海外大手ユーザーの設備投資が一巡したことで低調に推移。



横編機

23,866百万円
構成比 71.2%



デザインシステム 関連

3,036百万円
構成比 9.1%



手袋靴下編機

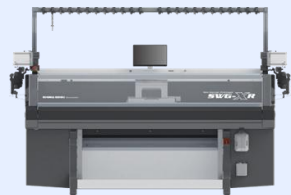
521百万円
構成比 1.5%



その他

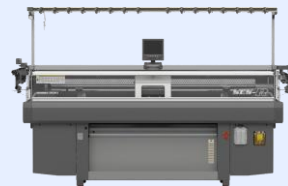
6,084百万円
構成比 18.2%

(百万円)	売上高		営業利益	
		(%)		(%)
横編機	23,866	2.7%	2,559	—
デザインシステム関連	3,036	7.8%	671	489.9%
手袋靴下編機	521	△31.0%	76	206.5%
その他	6,084	6.4%	1,048	—
消去			△6,076	
合計	33,509	3.0%	△1,720	—



ホールガーメント®横編機

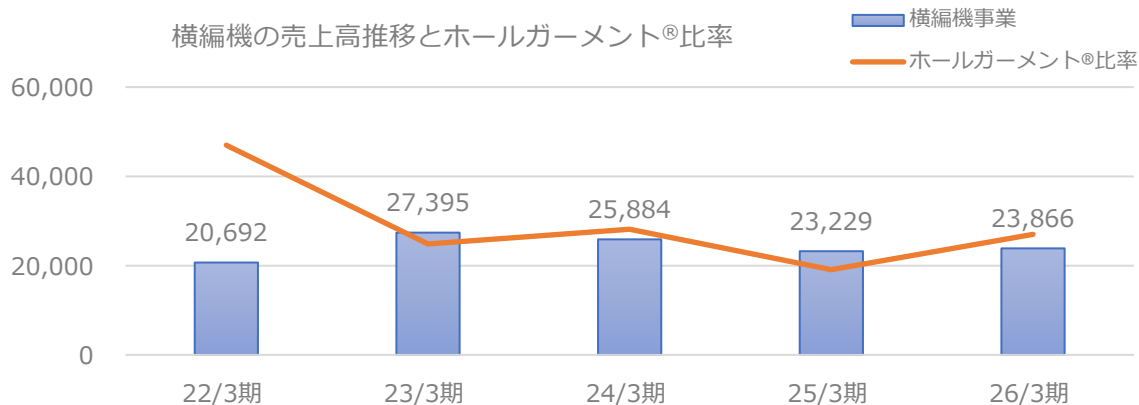
- ・一着丸ごと立体的に編み上げる「SWG®-XR」「MACH2®XS」
- ・環境に配慮したものづくりを実現
- ・ニット帽や手袋などファッション小物に最適な「SWG®-N2」



コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製、リンク作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SES®-R」「N.SIR®」「N.SVR®」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SSR®」

横編機の売上高推移とホールガーメント®比率



横編機事業に対する
ホールガーメント®売上高比率

27%

(前年同期19%)



3Dデザインシステム「SDS®-ONE APEX4」

- ・編み機のプログラミング、パターンCADに加えて横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェア



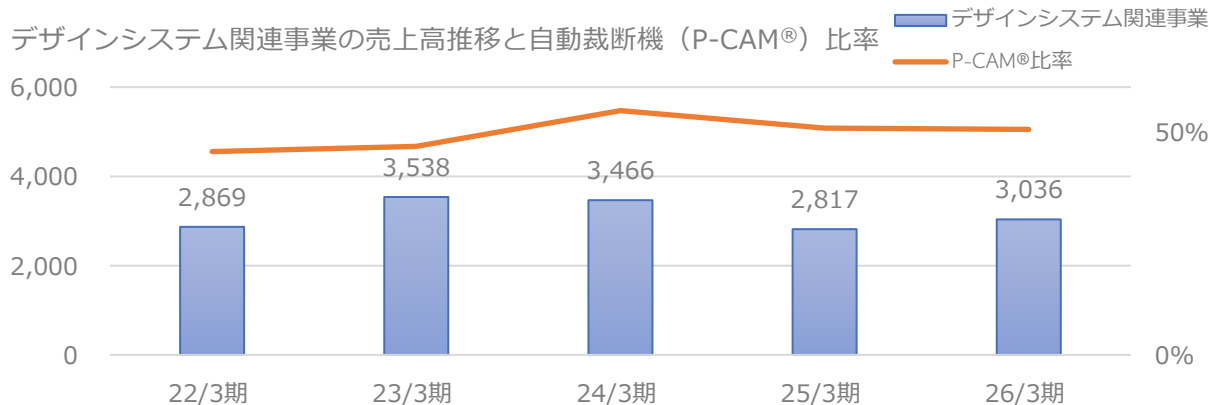
自動裁断機「P-CAM®」

- ・自動裁断機のみならず、生地裁断の前後工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供
- ・「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材など様々な業界へ浸透を図る

デザインソフトウェア 「APEXFiz®」



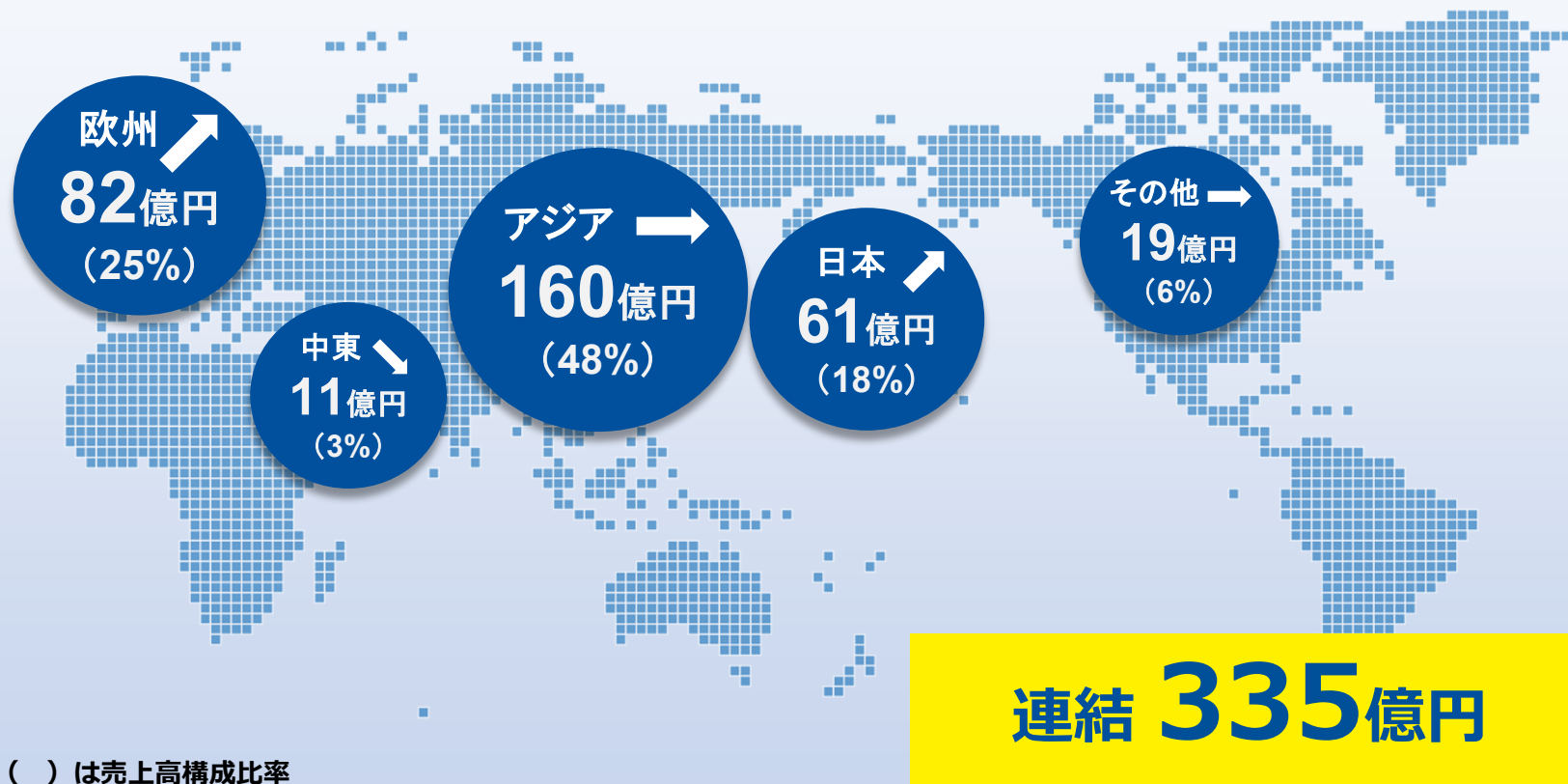
- ・デザインシステムのサブスクリプション型ソフトウェア
- ・お手持ちのパソコンにダウンロードし、いつでもどこでもデザインが可能



デザインシステム関連事業に対する P-CAM®売上高比率

51%

（前年同期51%）

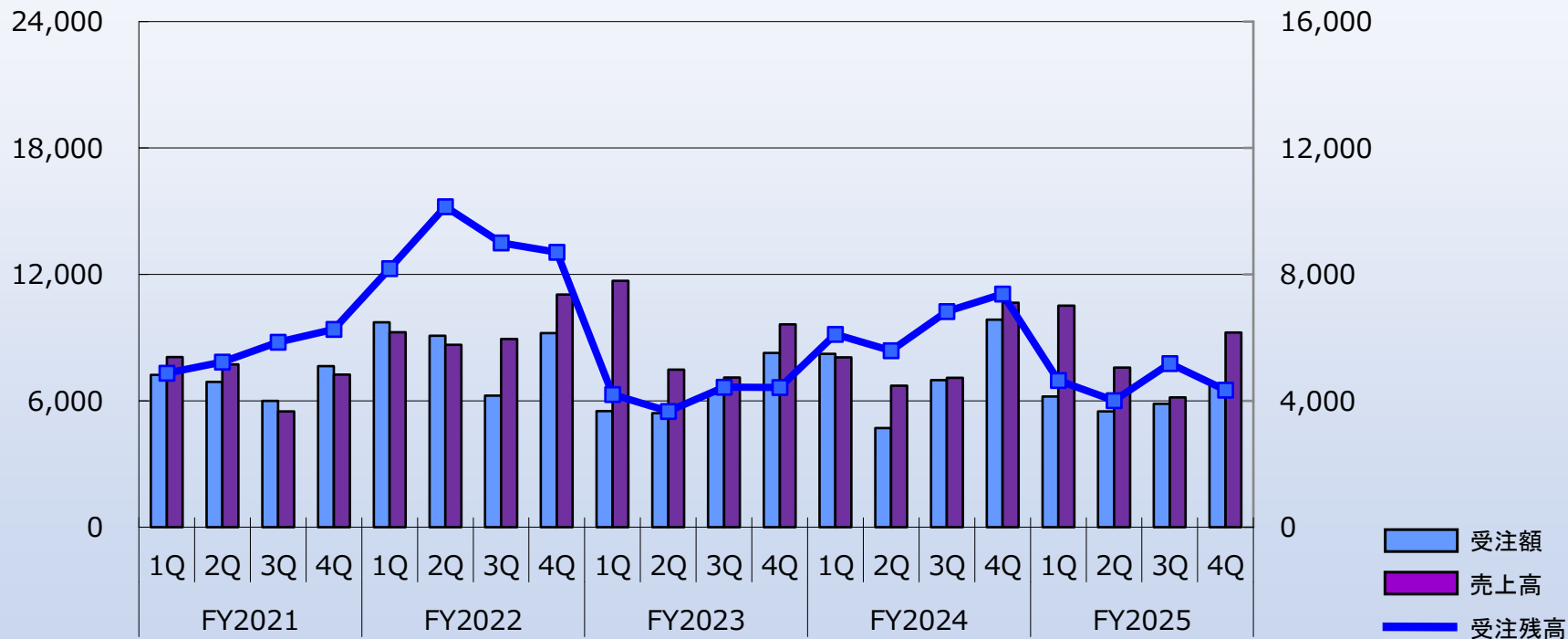


※ () は売上高構成比率

	(%)		
	2026年3月期	前年同期比	2025年3月期
(百万円)			
日 本	6,160	12.0%	5,500
欧 州	8,207	16.2%	7,065
ア ジ ア	16,034	1.9%	15,732
中 東	1,159	△49.1%	2,275
その他（海外）	1,947	0.1%	1,946
合 計	33,509	3.0%	32,520

受注・売上高（百万円）

受注残高（百万円）



(百万円)	2024/3				2025/3				2026/3			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	11,695	7,474	7,112	9,628	8,061	6,710	7,091	10,656	10,519	7,573	6,169	9,247
営業利益	695	△327	391	△328	△493	△1,444	△7,854	△2,121	307	△387	△982	△658
経常利益	918	△353	633	△180	△343	△1,692	△7,484	△1,961	1,012	△232	△276	△215
親会社株主に 帰属する 当期純利益	740	△372	616	44	△380	△1,744	△9,153	△2,994	907	△235	△279	464

(百万円)

受注高	5,507	5,413	6,333	8,263	8,224	4,712	6,982	9,850	6,207	5,498	5,861	6,810
受注残高	4,201	3,669	4,428	4,419	6,102	5,584	6,825	7,385	4,641	4,008	5,177	4,340

(百万円)	2026年3月期 期末	2025年3月期 期末	増減
流動資産	82,842	74,205	8,637
固定資産	26,688	25,200	1,488
（有形固定資産）	14,263	14,186	77
（無形固定資産）	168	78	90
（投資その他の資産）	12,257	10,936	1,320
資産合計	109,531	99,405	10,125
流動負債	16,535	17,632	△1,096
固定負債	10,613	4,032	6,580
負債合計	27,149	21,665	5,483
株主資本	65,830	65,983	△152
その他の包括利益累計額	16,507	11,718	4,788
新株予約権	14	13	1
非支配株主持分	29	25	4
純資産合計	82,382	77,740	4,641
負債及び純資産合計	109,531	99,405	10,125

現金及び預金

当期末**21,295**百万円（前期末14,129百万円）
前期末より7,166百万円増加

売上債権

当期末**36,893**百万円（前期末35,341百万円）
前期末より1,552百万円増加

棚卸資産

当期末**24,442**百万円（前期末24,982百万円）
前期末より539百万円減少

自己資本比率

75.2%（前期末78.2%）
1株当たり純資産2,427円

※（百万円未満切り捨て表示）

(百万円)

項 目	2026年3月期 期末	2025年3月期 期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	408	△4,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,468	△3,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,470	5,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	843	△138
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	5,253	△2,446
現金及び現金同等物の期首残高	10,363	12,809
現金及び現金同等物の期末残高	15,617	10,363

営業活動によるキャッシュ・フロー
棚卸資産の減少などにより
4億8百万円の資金の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出などにより
14億68百万円の資金の減少

財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入れによる収入などにより
54億70百万円の資金の増加

現金及び現金同等物の期末残高
前期末に比べ
52億53百万円の増加

※（百万円未満切り捨て表示）

Ⅱ. 2027年3月期業績計画

SHIMA SEIKI

Passion to Create

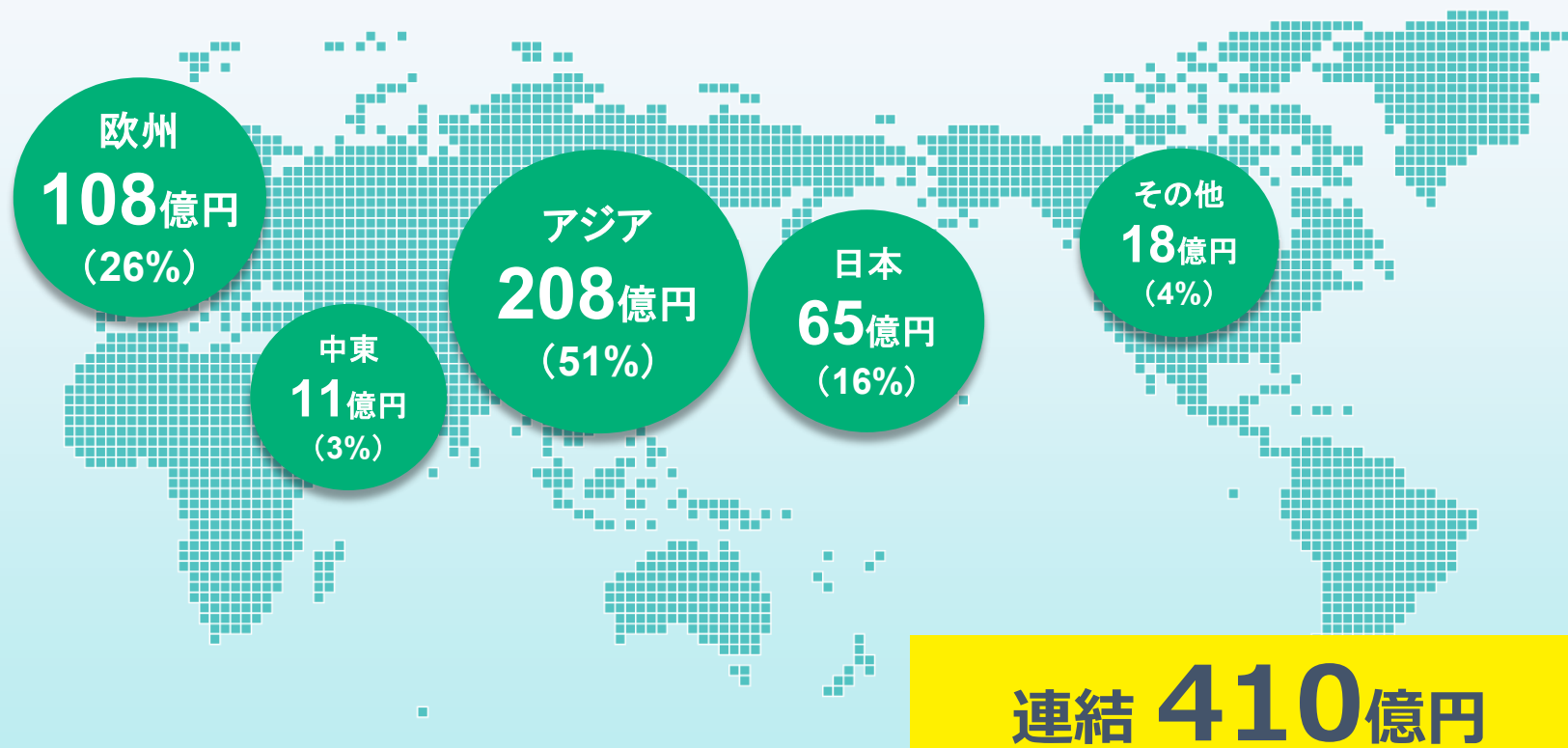
(百万円)	(%)		
	2027年3月期	前期比	2026年3月期
売上高	41,000	22.4%	33,509
営業利益	300	—	△1,720
経常利益	1,000	246.3%	288
親会社株主に帰属する 当期純利益	900	5.1%	856

【通期計画の前提】

(円)

為替レート	2027年3月期
ドル・円	157
ユーロ・円	183

(百万円)	(%)		
	売上高 (通期)	前期比	営業利益 (通期)
横編機	30,950	29.7%	5,100
デザインシステム関連	3,650	20.2%	900
手袋靴下編機	400	△23.3%	50
その他	6,000	△1.4%	1,350
消去			△7,100
合計	41,000	22.4%	300



※ () は売上高構成比率

Ⅲ. 株主還元

1. 自己株式100万株を取得（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.90%）

※ 5/9公表・9/24取得終了

2. 自己株式100万株を消却（消却前の発行済株式総数に対する割合2.79%）

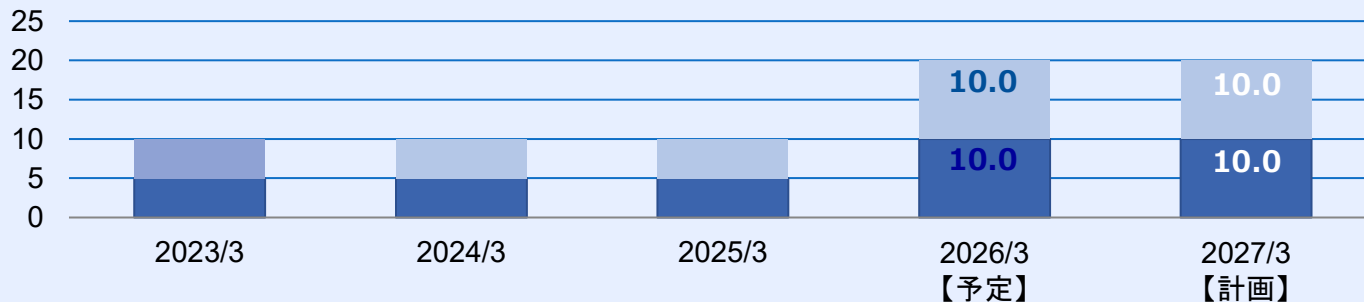
※ 5/9公表・10/31消却

2026年3月期（予定） 中間配当金10円 期末配当金10円

2027年3月期（計画） 中間配当金10円 期末配当金10円

【配当方針について】

中期経営計画「Ever Onward 2026」に基づき、収益力の向上につながる積極的な成長投資と財務体質の強化に努めながら、連結配当性向40%を目安に株主配当を行うことで、株主還元の充実を図る。



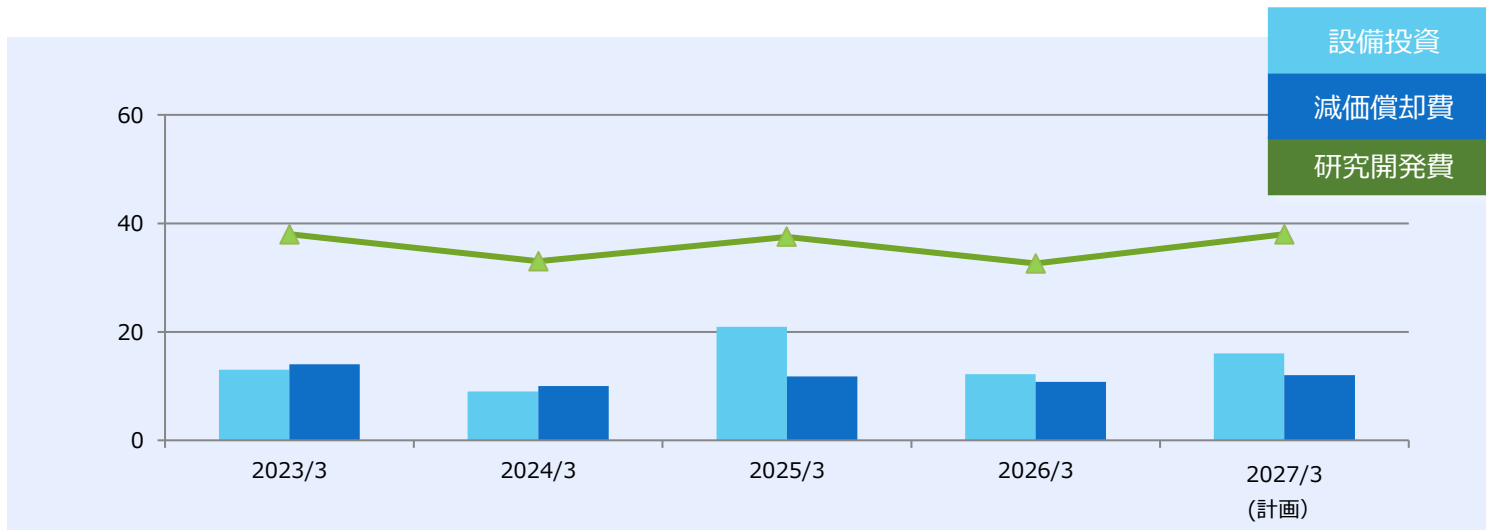
補足資料

【為替レート】 (円)		2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (計画)
ドル・円	期末為替レート	149.52	159.88	157円
	平均売上レート	152.65	150.82	
ユーロ・円	期末為替レート	162.08	183.41	183円
	平均売上レート	163.85	174.86	

【為替感応度】 (1円の変動による営業利益への影響)

	2027年3月期 (計画)
ドル・円	90百万円
ユーロ・円	30百万円

26年3月期（実績）	設備投資12.2億円（リース資産0.6億円含む） 減価償却費10.8億円、研究開発費32.6億円
27年3月期（計画）	設備投資16億円（リース資産3億円含む） 減価償却費12億円、研究開発費38億円



株式会社 ダイユー 様 安全規格を支える、P-CAM® Rの 高精度・高効率裁断

背景

老朽設備により、供給遅れ・品質のばらつき・保守負荷が顕在化

選定 ポイント

- 品質・生産性・安全性を同時に改善
 - 効率向上とコスト低減を両立
 - 顧客要望に応える改善提案まで実現
- 老朽更新を超えた、品質保証基盤として選定**



株式会社 ダイユー

1979年創業。自動車用シートカバーを主力に、日本および世界の自動車産業を支える縫製・加工メーカー。

導入の流れ



導入効果

- 多積層対応と裁断・目打ちの同時駆動の実現により、**生産性が約20%向上**
- ネスティング最適化と高精度裁断により、**コストを約20%削減**
- ナイフ研磨装置など新機構搭載により、**裁断品質の安定化を実現**
- 自動昇降式安全カバーにより、**安全規格対応と現場安全性が向上**

命を守る品質を、 設計から裁断まで一貫して支援

自動車用シートには、エアバッグ作動時にのみ縫製糸が破断する精密設計が求められる。SHIMA SEIKIのソリューションはCADと裁断機を連動させ、裁断精度と穴位置精度の両面から厳格な品質基準を安定して支えている。



設計

SDS®-ONE APEX4
PGMソフト活用

データ精度確保

複雑な立体構造に対応
無駄のない型紙設計

高精度裁断

P-CAM® Rで安定した
裁断・目打ち

品質保証

安全基準を満たす
製品づくりを支援

設備更新を超え、顧客の中核工程に入り込む生産基盤強化の事例

SHIMA SEIKI

Passion to Create

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。